



みみよい

なお知らせ！

第 27 号

平成 28 年 6 月 15 日 発行

みみの記念日：3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日

佐賀県聴覚障害者
サポートセンターだより

東北・熊本大震災から学ぶ<シリーズ>で考える・3>

熊本大地震から2ヶ月経過 今なお7500人避難所生活

4月14日、4月16日震度7の大地震から早や2か月、今でも余震が続き、その回数は1600回超にも及んでいます。今なお、7500人超の方が避難所生活、他にテント生活を余儀なくされている方も多くおります。家屋の全半倒壊も27000棟、公共インフラ施設の被害等に最大4.6兆円と試算されています。梅雨にはいり、仮設住宅の建設など住居の手当と生活再建が急がれます。

これからが情報支援体制が問われます。

熊本県 小野センター長のレポートです。



熊本県の情報センターの小野所長は、4年前の大雨水害で大規模半壊し、2週間の小学校での避難生活、仮設住宅への移住、河川改修工事説明会、家の解体工事と関連する各種の手続きなど落ち着くまで1年以上かかった体験をされています。このことから、今回被災された方も同じような道を辿られると思われ、聴覚障害を支援する手話通訳や要約筆記の体制がこれから問われてくるし、まだまだ踏ん張らなければならない時間が続きます—とレポートされています。

前号(5月15日発行)でとりあげた嬉野市塩田町の実家に度々帰省されているろう学校OGの淵野清美さん(43歳)は、全九州ろうあ者スポーツ大会 in 鹿児島に、熊本県のバレーボールの一員として元気に出場されました。

28年度事業計画了承 第1回運営委員会開催 (5月26日)

今年第1回目のセンター運営委員会が、委員佐賀大学芳野教授ら12名(1名欠席)、オブザーバー7名が出席して、5月26日に開かれました。27年度の利用者の実質事業報告、28年度事業計画等について論議されました。



27年度の実施状況

- ・指定管理2年目として、養成事業・聴こえの相談・ピアカウンセリング・社会参加事業を実施したこと。
- ・全国統一試験は、手話通訳者が1名、要約筆記者4名が合格したこと。
- ・センターの利用状況では、年間の利用者が8114名で、26年度より2664名減少したものの計画の1.8倍であったことが報告されました。

質疑では、

- ・各種講座受講修了者が、実際に活動できるようにフォローされているか。
- ・全国統一試験の合格率を高める工夫はされているか。
- ・巡回聴こえの相談の目標はどのように想定されているか。
- ・警察やJR等の手話使用の理解・啓発活動はどのようにされているか。
- ・差別解消法の施行により合理的配慮を活用して心のバリアフリーのための啓発をしっかりとやる必要がある。等の活発な質疑がありました。提案された議案は全て了承されました。

28年度の事業計画

指定管理者として最終年度の3年目にあたり、引き続きこれまでの事業を着実に執行することが提案されました。



要約筆記者養成講座

5月11日(水)より、6名の受講生で講座が始まりました。9月28日までの長丁場です。全員、2月の統一試験を目指しましょう。



手話通訳者養成講座・通訳Ⅲ(実践)課程

5月22日(日)から、来年2月19日まで11講座で15名が受講して、開講式がありました。来年早々には、新テキストが発行される予定です。



鳥栖市若葉地区 民生児童委員協議会の研修

6月3日(金)12名が来館されて、聴覚障害者をめぐる現状、センターの役割や赤外線補聴援助システム体験・聴力測定の研修をされました。





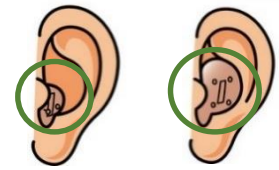
補聴器シリーズ③ 補聴器の種類 (耳あな型補聴器)



補聴器は大きく耳あな型、耳かけ型、ポケット型の3つに分けられます。耳あな型は3種類の中では最も小さく、個人の耳の形に合わせて作るオーダーメイド型の補聴器です。耳穴にすっぽり入るCIC型から耳のくぼみまでであるITE(フルサイズ)型まであり聴力レベルや個人の好みで型の選択をします。

【短所】本体が小さく細かい操作が必要、機能を付けると型が大きくなる、電池が小さく他機種に比べ電池交換の頻度が多い、音を拾うマイクと音を出すスピーカーの距離が近いのでハウリング(ピーピー音)が起きやすいなどです。

【長所】目立ちにくい、マイクが耳の中にあるため自然に音が入る、耳本来の機能を利用するため方向感が得られやすい、マイクの位置を気にせず電話ができるなどが挙げられます。



CIC型 ITE型

*メーカーによってはCIC型よりもさらに小さなIIC型もあります。

— 引用文献・参考文献 —

・よくわかる補聴器選び2016(監修/著 関谷芳正)・「聞こえ」に不安を感じたら…(著者 河野淳)

募集中!

参加料無料 会場:センター

問い合わせは、センターまで

- ★ きこえのセミナー 講師:川津 潤氏 (フナック・ジャパン株式会社)
離れたところからでも、騒がしいところでも、もっと相手の話がきこえたら…そんな要望にお応えするシステム(FM・ロジャー)をご紹介します。
赤外線補聴援助システム・要約筆記を用意しております。 7月22日(金) 13:30~15:30
- ★ みみサポーター講座 (全4回)
加齢性難聴、聴覚障害、家族や地域での支援のあり方について学んでみませんか。
7/16・7/30・8/27・9/10 (いずれも土曜日) 10:00~12:00

《シリーズ要約筆記①》要約筆記って何?

昨年の学生ボランティア講座(要約筆記)に参加した6人の中で㊦を知っていた学生は1人でした。学生に限らず、ご存じない人にお話すると「速記ですか?」「ああ、箇条書きで…」という反応です。それらで話が伝わりますか?

これからシリーズで㊦について書いてみます。

ところで、5月19日NHK佐賀夕方の「ただいま佐賀」

の「あの人に会いたい」のコーナーに“佐賀要約筆記サークル「虹の会」”山津会長(写真右、左は見浪アナ)が出演されました。

問い合わせは数件ですが、認知度は上がったはずです。



平方由佳里さん 入選作品 『負けるもんか! ゴールを目指せ』



TANSIN 短信 TANSIN

- ・学生ボランティア講座(手話)が6月1日(水)から始まりました。佐賀大学・西九州大学・佐賀コンピューター学院から17名が参加。7月6日までの5回。聴覚障害(者)の基礎知識、簡単な手話を学びます。
- ・難聴者の健康づくり教室に5月22日(日)9名が参加。健康のすすめ、カロリーソング体操で楽しくリフレッシュ。
- ・第31回全国聴覚障害者写真コンテスト課題部門「疾走」で、平方由佳里さんの『負けるもんか! ゴールを目指せ』が、昨年引き続き入選。

編集後記:じめじめした季節に突入、アジサイが咲いているのを見かけると、ホッとしますね。(M.J)

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12(佐賀商工ビル4階)
TEL:0952-40-7700 FAX:0952-40-7705
メールアドレス:info@saga-mimisapo.jp
ホームページアドレス:http://saga-mimisapo.jp/

＜開館時間＞

9:30~18:00
9:30~20:00(水曜)

＜閉館日＞

毎週月曜日、祝日